

さくら湖 自然環境フォーラム 2018

場所：三春交流館「まほら」まほらホール

期日：平成30年11月9日(金)～10日(土)

～入場無料・参加予約は不要です～

- ☆主催：さくら湖自然環境フォーラム実行委員会
 (三春ダム維持管理協議会 国土交通省三春ダム管理所 福島県土木部河川整備課
 一般財団法人水源地環境センター 応用生態工学研究所 さくら湖流域協働ネットワーク
 三春町教育委員会 中妻まちづくり協会 中郷まちづくり協会)
- ☆共催：一般社団法人東北地域づくり協会
- ☆後援：福島民報社 福島民友新聞社 大滝根川流域生活排水対策推進協議会

【1日目】11月9日(金) 三春ダム(さくら湖)ができて20年～生き物の大切さを学ぶ

- ◎第1部【研究報告・発表】 13:00～14:20
- 1)研究報告
 「さくら湖自然観察ステーションの活動」 さくら湖自然観察ステーション企画運営委員
 「三春ダムができて20年の自然環境の変遷」 国土交通省三春ダム管理所 専門官 片寄 仁 氏
- 2)研究発表
 「中妻の自然を守り隊」 三春町立中妻小学校第4学年のみなさん
 「中郷の水環境」 三春町立中郷小学校第4学年のみなさん
 「お米ができるまで～田んぼでみつけた生きもの～」 三春町立岩江小学校第5学年のみなさん
- ～ 休憩 ～ 小ホールでは三春ダム管理所展示説明があります 14:20～14:35
- ◎第2部【記念講演】 14:35～15:50
 「生物多様性とはなにか?なぜ守るのか?」講師 国立環境研究所研究員 五箇 公一 氏

【2日目】11月10日(土) 応用生態工学会仙台 東北地域研究発表会・シンポジウム

- ◎午前【平成30年度東北地域 研究発表会】 11:00～12:00
 発表テーマ「ダム、河川等の生態系、水質等に関する研究発表」
- ◎午後【公開シンポジウム】さくら湖ができて20年でわかったこと 13:00～16:30
- 基調講演「“さくら湖”建設当時の環境に対する思い」伊藤 寛 氏(前三春町長)
 「ダム湖水質の将来と予防—温暖化と土地利用の視点から—」
 占部 城太郎 氏(東北大学大学院生命科学研究科 教授)
 「環境DNAを利用した生態系観測—現状と今後の展開—」
 近藤 倫生 氏(東北大学大学院生命科学研究科 教授)
- パネルディスカッション
 パネリスト:研究者:木村 文宣 氏((一財)水源地環境センター)「三春ダム建設後20年間の水質の変化」
 中井 克樹 氏(琵琶湖博物館 主任学芸員)「“さくら湖”での外来魚問題への取り組み」
 竹原 明秀 氏(岩手大学人文社会学部 教授)「三春ダムをとりまく植物的自然環境」
 さくら湖管理者:中川 博樹 氏(国土交通省三春ダム管理所長)「“さくら湖”管理者としての環境への取り組み」
 自治体関係者代表:鈴木 義孝 氏(三春町長)「“さくら湖”の環境に対する要望」
 コーディネーター:梅田 信 氏(東北大学大学院工学研究科 准教授)

本事業は、(一社)東北地域づくり協会みちのく国づくり支援事業の支援により実施しています